

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年5月21日)

- 1 ピンクSLフェスタ及び若桜鉄道谷口剛史氏の「鳥取輝(き)らりマイ☆スター」
認定証交付について
【交通政策課】・・・1ページ
- 2 女性タクシードライバー採用セミナー開催結果について
【交通政策課】・・・2ページ
- 3 公立鳥取環境大学の入試実施状況と就職活動状況について
【教育・学術振興課】・・・3ページ
- 4 第4回鳥取県東京オリ・パラキャンプ誘致推進委員会の開催結果について
【スポーツ課】・・・6ページ
- 5 第2回ワールドマスターズゲームズ2021関西 鳥取県実行委員会総会の開催結果について
【スポーツ課】・・・7ページ

地 域 振 興 部

ピンクSLフェスタ及び若桜鉄道谷口剛史氏の「鳥取輝(き)らりマイ☆スター」認定証交付について

平成30年5月21日

交通政策課・産業人材課

4月30日(月・休)に若桜駅で3回目となるピンクSLイベントが開催され、ピンクSLのお披露目式やゲストと平井知事によるトークショーのほか若桜鉄道谷口剛史氏の「鳥取輝(き)らりマイ☆スター」認定証交付等が行われました。

1 ピンクSLフェスタの概要

- (1) 日 時 平成30年4月30日(月・休) 11時～15時(第一部) 17時～20時(第二部)
- (2) 場 所 若桜駅構内及び若桜駅前広場
- (3) スペシャルゲスト 中井精也氏(鉄道写真家)、吉川正洋氏(お笑い芸人「ダ・リソニー」)、南田裕介氏(ホプ・ロマネジャー)
- (4) 主な出席者 平井知事、舞立参議院議員、矢部若桜町長、吉田八頭町長、福田県議会議員、小倉若桜鉄道社長等
- (5) 今年度の新たな取組み 観光列車「昭和」とピンクSLを並べた展示、ピンク色をした花火の打上げ、ピンク商品販売(ピンクさば天うどん、因州若桜わかさ最中等)等を実施した。
- (6) イベントの反響 イベントの充実により、昨年度の約1,000人を大幅に上回り、イベント当日は約4,500人(主催者発表)が来場。また、地元メディアだけでなく、日本テレビ「ヒルナンデス!」等の全国テレビでも放送された。



ピンクSLと昭和を並べた展示



ゲストと知事のトークショー



転車台の回転

2 谷口氏の「鳥取輝(き)らりマイ☆スター」認定証交付

- ・フェスタ当日、若桜鉄道車両係長谷口剛史氏が平井知事から「鳥取輝(き)らりマイ☆スター」※第1号の認定を受けた。
- ・谷口氏は機関車に蒸気機関ではなくコンプレッサーを取り付け、蒸気の代わりに圧縮空気によってSLを走行させるという、全国的にも極めて希少な技術を保有する。
- ・当該技術により動態復元した「動く蒸気機関車」は、若桜鉄道のほか、和歌山県有田川鉄道公園のSL動態復元などでも活躍し、多くの観光客が訪れることで、地域の活性化に貢献している。



認定証交付の様子

※鳥取輝(き)らりマイ☆スター：全国的に極めて希少あるいは貴重な技術を有し、地域経済の活性化及び活力の再生に多大な貢献をしている者を知事が認定する制度 (H30. 3創設)

女性タクシードライバー採用セミナー開催結果について

平成30年5月21日
交通政策課

女性の視点を活かした、福祉・観光分野等でのUDタクシーの有効利用の促進と慢性的なドライバー不足解消を目的として、県内タクシー事業者を対象に県内初の女性タクシードライバー採用セミナーを開催しました。

1 女性タクシードライバー採用セミナーの概要

- (1) 日 時 平成30年5月8日(火) 13時30分～15時40分
- (2) 場 所 エキバル倉吉
- (3) 参 加 者 県内タクシー事業者、商工会議所、県立ハローワーク、鳥取運輸支局、各市町村公共交通担当者等 合計50名
- (4) 次 第
 - ア) 講義「女性ドライバー採用ポイント」
講師：株式会社船井総合研究所 物流・交通チーム チームリーダー 荒木和也氏
 - イ) パネルディスカッション「女性タクシードライバー採用の事例紹介と採用のポイント」
パネリスト：ハーネスタクシー株式会社(大分市)、株式会社鬼怒川タクシー(日光市)、米子第一交通株式会社、鳥取県ハイヤータクシー協会、鳥取県地域振興部長
- (5) 主 な 内 容
 - ・女性でもできることでなく、女性だからできる仕事を発見する。(船井総合研究所)
 - ・女性の採用に関しては、女性向けの施設整備や制服のデザインにすることが大事。また、口コミによる情報伝達も効果的。女性高齢者のお客様からは、女性ドライバーの指名が出てきた。(ハーネスタクシー)
 - ・「子育てタクシー」は、子育て支援事業者が運営に関与することで、女性の視線に立ったサービスの提供ができた。(鬼怒川タクシー)
 - ・女性の働きやすい環境を整え「女性ドライバー応援企業」に認定されることにより、さらに女性の採用につながった。(米子第一交通) 等
- (6) 参加者感想 「女性ドライバーの採用を積極的に実施したい」、「女性タクシードライバー採用の先進事例がとても参考になった」という意見が目立つ。(アンケートより)



船井総合研究所講義



パネルディスカッション

2 H30年度女性タクシードライバー確保の取組

4月25日に立ち上げた官民の関係機関による「UDタクシー利活用推進会議」が中心になり、UDタクシーの利用率向上、モデル事例の創出、情報発信等に取り組むとともに、県の女性タクシードライバー確保支援補助金により、女性ドライバー採用・活用の取組を支援し、女性の視点を活かしたUDタクシーの利活用モデルの創出を図る。

女性タクシードライバー確保支援補助金

- (1) 補助対象者 県内に事業所を有するタクシー事業者(6事業者)
- (2) 補助率 1/2(補助上限50万円)
- (3) 補助対象経費 女性タクシードライバー確保のために新たに行う事業に必要な経費(女性用トイレ、待機場所整備費、採用活動費、2種免許取得費等)

※女性ドライバー採用・活用と、外出支援、観光おもてなし等UDタクシーの積極的な活用を組み合わせ、地域の課題解決に向けたモデル的な取組を優先的に採択

公立鳥取環境大学の入試実施状況と就職活動状況について

平成30年5月21日
教育・学術振興課

1 入試実施状況

- ・志願倍率は6.1倍(29年度4.6倍 / 年次目標 定員の5.0倍以上)、入学定員充足率は105.4%(年次目標:100%達成)であり、昨年度を上回る、多くの志願者があった。
- ・県内出身の志願者は222名と昨年度に比べ大幅に増加したが、県外出身の志願者も大幅に増加し、入学者に占める県内出身者の割合は14.8%で、昨年度と同程度であった。
- ・これまで、大学内の入試関係業務は、企画広報課入試室が行っていたが、今年度新たに、入試広報課を設置し、県立高校校長OBを「県内入学者促進コーディネーター」として配置することで、体制を強化し、定期的な高校訪問回数を増加させ、県教育委員会と連携して県内高校への環境大学のPRや受験の働きかけ、高校生への「鳥取県内出身学生生活支援制度」の周知等を強化する。
- ・また、県内出身の入学者を増やすため、平成32年度から実施される大学入学共通テストに向けた入学選抜制度の検討を行う。

学部名	環境学部		経営学部		合計	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
募集人員(A)	138名	138名	138名	138名	276名	276名
志願者数(B)	545名	614名	1,129名	664名	1,674名	1,278名
(うち県内)(B')	(38名)	(51名)	(184名)	(104名)	(222名)	(155名)
(県内割合)(B'/B)	(7.0%)	(8.3%)	(16.3%)	(15.7%)	(13.3%)	(12.1%)
志願倍率(B/A)	3.9倍	4.4倍	8.2倍	4.8倍	6.1倍	4.6倍
入学者数(C)	149名	151名	142名	169名	291名	320名
(うち県内)(C')	(12名)	(10名)	(31名)	(37名)	(43名)	(47名)
(県内割合)(C'/C)	(8.1%)	(6.6%)	(21.8%)	(21.9%)	(14.8%)	(14.7%)

<参考>他の県内大学の入試実施状況

大学名	鳥取大学		鳥取看護大学		鳥取短期大学	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
募集人員(A)	1,140名	1,140名	80名	80名	300名	300名
志願者数(B)	5,317名	4,902名	173名	172名	333名	356名
(うち県内)(B')	(814名)	(778名)	(125名)	(134名)	(287名)	(264名)
(県内割合)(B'/B)	(15.3%)	(15.9%)	(72.2%)	(77.9%)	(86.2%)	(74.2%)
志願倍率(B/A)	4.7倍	4.3倍	2.2倍	2.2倍	1.1倍	1.2倍
入学者数(C)	1,166名	1,177名	89名	90名	285名	287名
(うち県内)(C')	(194名)	(194名)	(72名)	(75名)	(255名)	(226名)
(県内割合)(C'/C)	(16.6%)	(16.5%)	(80.9%)	(83.3%)	(89.5%)	(78.7%)

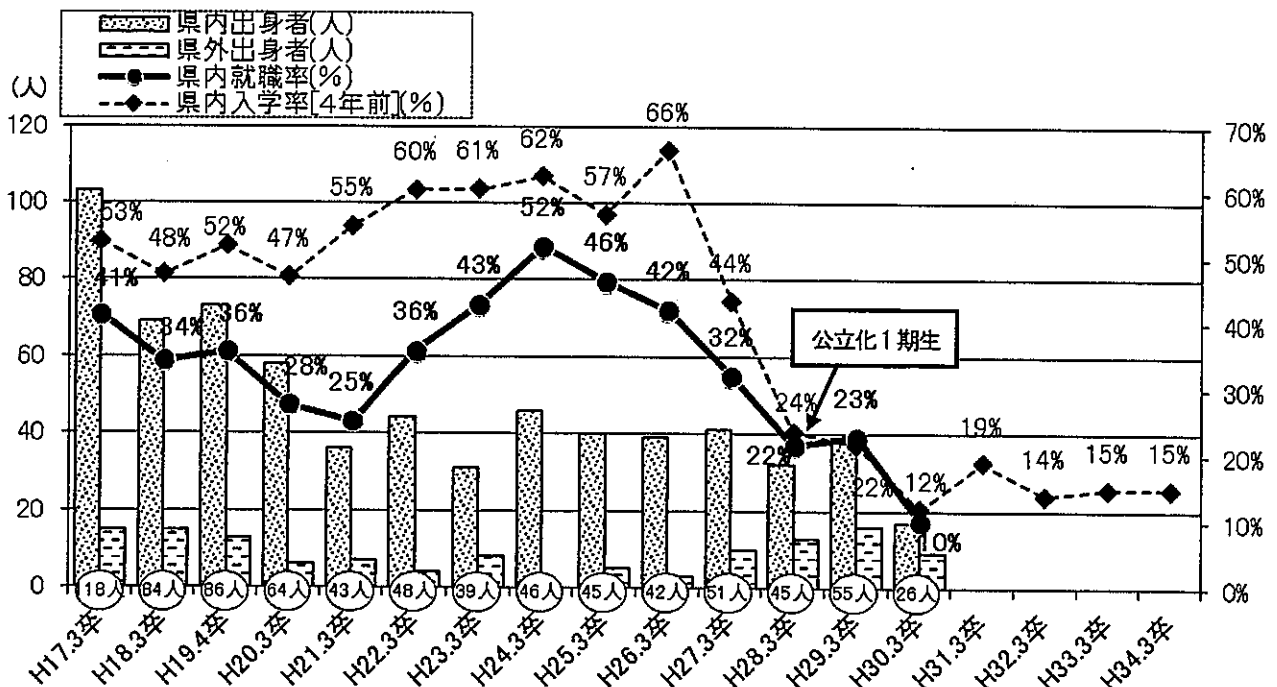
2 就職活動状況

- ・公立化3期生が卒業した29年度の就職率は98.9%と、過去最高を達成した。
- ・内定者に占める県内企業内定者の割合は10.1%と低い数値となったが、このたびの卒業生の入学時の県内入学率は12.0%と、県内出身者の割合が大学設立以降、最も低かったこと等が影響していると考えられる。
- ・就職支援に関しては、今年度新たに、学内に「就職支援センター」を設置し、企業、学生等に対し、就職にかかる窓口を明確化し、就職支援、キャリア教育の充実を図るとともに、学生一人ひとりの就職活動をより一層きめ細かく支援する。
- ・学卒者の地元定着等を目的とした「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」の取り組みや「とっとりインターンシップ」の他、今年度からスタートする長期有償型インターンシップの積極的な活用、地元志向人材の育成を目指すプロジェクト研究等とキャリア教育の連携を検討するなど、新たな取り組みを進める。

大学名	公立鳥取環境大学 (3/31現在)		鳥取大学 (5/1現在)		鳥取短期大学 (4/30現在)	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
卒業生(A)	294名	272名	1,145名	1,174名	254名	233名
就職希望者(B)	261名	247名	662名	678名	232名	223名
(うち県内出身者)	(31名)	(52名)	(136名)	(145名)	(179名)	(172名)
内定者(C)	258名	240名	657名	668名	230名	220名
(うち県内企業)(C')	(26名)	(55名)	(143名)	(135名)	(174名)	(162名)
(県内企業割合)(C'/C)	10.1% ※(14.7%)	22.9%	21.8%	20.2%	75.7%	73.6%
内定率(C/B)	98.9%	97.2%	99.2%	98.5%	99.1%	98.7%

※()書きの公立鳥取環境大学29年度県内就職率14.7%は、県内に本社がある企業に加え、山陰合同銀行など主要拠点を県内に設けている企業(商工労働部主催「鳥取県産業・企業紹介フェア」参加企業)を含めた場合の県内就職率

<参考> 県内就職率及び県内入学率にかかる推移



(参考)

平成30年3月新規大学等卒業者の就職内定状況(3月末現在)

鳥取労働局職業安定部

(人・%・P)

【総数】	卒業生数			就職希望者数			就職内定者数			就職希望率			就職内定率		
	29	28	増減率	29	28	増減率	29	28	増減率	29	28	増減差	29	28	増減差
大学等 総計	2,668	2,569	3.9	2,008	1,914	4.9	1,978	1,855	6.6	75.3	74.5	0.8	98.5	96.9	1.6
うち県内	—			772	672	14.9	759	652	16.4	38.4	35.1	3.3	98.3	97.0	1.3
大学(2校)	1,736	1,753	▲1.0	1,208	1,197	0.9	1,190	1,159	2.7	69.6	68.3	1.3	98.5	96.8	1.7
うち県内	—			211	210	0.5	209	209	0.0	17.5	17.5	0.0	99.1	99.5	▲0.4
専修学校(12校)	456	355	28.5	430	338	27.2	421	325	29.5	94.3	95.2	▲0.9	97.9	96.2	1.7
うち県内	—			357	263	35.7	349	251	39.0	83.0	77.8	5.2	97.8	95.4	2.4

【男子】	卒業生数			就職希望者数			就職内定者数			就職希望率			就職内定率		
	29	28	増減率	29	28	増減率	29	28	増減率	29	28	増減差	29	28	増減差
大学等 総計	1,498	1,489	0.6	1,024	1,030	▲0.6	1,002	1,001	0.1	68.4	69.2	▲0.8	97.9	97.2	0.7
うち県内	—			282	264	6.8	270	256	5.5	27.5	25.6	1.9	95.7	97.0	▲1.3
大学(2校)	1,110	1,142	▲2.8	724	744	▲2.7	713	722	▲1.2	65.2	65.1	0.1	98.5	97.0	1.5
うち県内	—			98	109	▲10.1	96	108	▲11.1	13.5	14.7	▲1.2	98.0	99.1	▲1.1
専修学校(12校)	167	129	29.5	157	126	24.6	148	120	23.3	94.0	97.7	▲3.7	94.3	95.2	▲0.9
うち県内	—			124	96	29.2	116	90	28.9	79.0	76.2	2.8	93.5	93.8	▲0.3

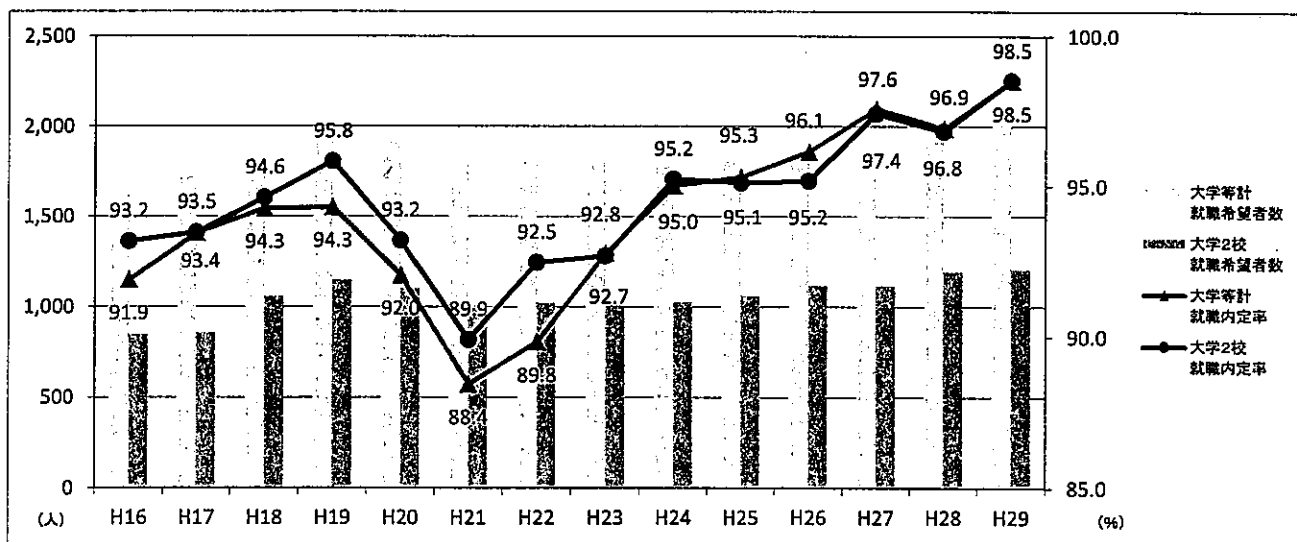
【女子】	卒業生数			就職希望者数			就職内定者数			就職希望率			就職内定率		
	29	28	増減率	29	28	増減率	29	28	増減率	29	28	増減差	29	28	増減差
大学等 総計	1,170	1,080	8.3	984	884	11.3	976	854	14.3	84.1	81.9	2.2	99.2	96.6	2.6
うち県内	—			490	408	20.1	489	396	23.5	49.8	46.2	3.6	99.8	97.1	2.7
大学(2校)	626	611	2.5	484	453	6.8	477	437	9.2	77.3	74.1	3.2	98.6	96.5	2.1
うち県内	—			113	101	11.9	113	101	11.9	23.3	22.3	1.0	100.0	100.0	0.0
専修学校(12校)	289	226	27.9	273	212	28.8	273	205	33.2	94.5	93.8	0.7	100.0	96.7	3.3
うち県内	—			233	167	39.5	233	161	44.7	85.3	78.8	6.5	100.0	96.4	3.6

(注1) 就職希望率は、卒業者のうち、就職希望者の割合、県内就職希望率は、就職希望者のうち、県内就職希望者の割合。

(注2) 対象は、無料職業紹介事業を行っている県下16校(大学、短大、高専、専修学校(専門課程))の集計数値である。

(注3) 短大及び高専は、単独校となるため、数値の公表は行わない。

大学等計及び大学2校の就職希望者数及び就職内定率の年度別推移(各年度調査対象月の月末現在)



第4回鳥取県東京オリ・パラキャンプ誘致推進委員会の開催結果について

平成30年5月21日
ス ポ ー ツ 課

東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプや国際大会、国内外のトップチームの合宿等の本県誘致に向けた取組状況、その方向性の確認等を目的に、市町・競技団体など関係者が集まり「第4回鳥取県東京オリ・パラキャンプ誘致推進委員会」を開催しました。

1 日 時 5月7日(月)午後3時30分～4時30分

2 場 所 県庁特別会議室(議会棟3階)

3 参加団体(参加者) ※下線は新規加盟団体

《自治体：6》

鳥取県(平井知事)、米子市(伊木市長)、倉吉市(石田市長)、境港市(松本教育長)、八頭町(藪田教育長)、鳥取市(神谷次長)

《競技団体：9》

鳥取陸上競技協会(浜崎会長)、県サッカー協会(高田専務理事)、県ホッケー協会(福田会長)、県セーリング連盟(善波副会長)、県自転車競技連盟(岡田理事長)、県卓球連盟(依藤会長)、県柔道連盟(吉村会長)、県ラグビーフットボール協会(松原副会長)、鳥取パラ陸上競技協会(山本会長)

《スポーツ団体：2》

県体育協会(油野会長)、県障がい者スポーツ協会(福留会長)

4 内 容

- ・議事(平成29年度事業報告・収支決算、平成30年度事業計画・収支予算(案))
- ・意見交換(各競技団体の取組状況、誘致に係る課題等)

5 会議での意見・今後の方向性等

陸上	昨年11月にジャマイカオリンピック協会・パラリンピック協会と包括協定を締結した。今年は、ホストタウン事業による陸上交流を進め、2020年に向けて関係性を強化していく。
サッカー	ドイツ女子サッカーを対象に誘致活動を始めた。今年11月に鳥取市で開催される「なでしこジャパン国際親善試合」の対戦相手国(未定)への接触も検討する。
ホッケー	今年4月、現在交渉中のニュージーランドから、2018年、2019年、2020年にキャンプを実施したい旨の連絡を受けた。早期に関係者を招へいし、県内視察・意見交換等を行う。
セーリング	今年1月、クアアチアを拠点とするJ.K.モルナル国際チームが、2018年、2019年、2020年に境港市でキャンプを実施することが決定した。今年は10月15日～11月4日に実施予定であり、境港市キャンプ実施委員会(仮称)を設立し、受入準備を進めていく。
自転車	昨年度交渉を進めていたフランスとは、条件面が折り合わなかったため誘致を行わないこととし、今後は、他のヨーロッパの国を対象にキャンプ誘致活動を進めていく。
卓球	今年10月23日～31日に鳥取市で開催される「ワールドカデットチャレンジ大会2018」に来県する世界主要地域のコーチ陣等を対象に、キャンプ誘致活動を行う予定。
柔道	昨年10月、モルドバ共和国柔道連盟から本県で事前キャンプを実施したい旨の意向を受けた。今年は、県内視察や事前キャンプ実施に関する協定締結に向けた調整を進めていく。
ラグビー	オリンピック(7人制)の誘致に向けて、五輪出場国が決まる来年以降、本格的に誘致活動を行う。
パラ陸上	ジャマイカパラリンピック選手団の受入に向けて、関係者と準備を進めていく。
その他	上記以外の競技についても、スポーツライミングなど県内既存競技施設を活用して、キャンプや大会誘致に繋がる取組を行っていく。

第2回ワールドマスターズゲームズ2021 関西 鳥取県実行委員会総会の開催結果について

平成30年5月21日
ス ポ ー ツ 課

2021年にアジアで初めて、鳥取県を含む関西一円で開催される「ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021 関西^(※)」に向けた取組状況、今後の方針等の確認を目的に、競技団体、開催市町、観光・経済等の関係団体が集まり「第2回ワールドマスターズゲームズ2021 関西 鳥取県実行委員会総会」を開催しました。

(※) この大会は、概ね30歳以上であれば誰でも参加できる世界最大規模の一般参加型・国際総合スポーツ大会です。

1 日 時 平成30年5月15日(火) 午前10時～10時45分

2 場 所 とりぎん文化会館 第3会議室

3 参加団体(参加者)

《自治体》

県(平井知事)、湯梨浜町(宮脇町長)、米子市(伊澤副市長)、鳥取市(尾室教育長)、倉吉市(谷本課長)

《競技団体》

県アーチェリー協会(杉原会長)、県自転車競技連盟(岡田理事長)、県柔道連盟(足立副理事長)、県グラウンド・ゴルフ協会(山本会長)

《スポーツ団体》

県体育協会(油野会長)、県障がい者スポーツ協会(福留会長)

《観光経済団体》

県旅館ホテル生活衛生同業組合(岩崎理事長)、県商工会議所連合会(藤縄会長)、県観光連盟(岡山専務理事)、県商工会連合会(米田専務理事)

《交通団体等》

県バス協会(馬場会長)、JR西日本米子支社(蔭山課長)、智頭急行(城平社長)、県国際交流財団(内田常務理事)

4 内 容

- ・議事(平成29年度事業報告・収支決算、平成30年度事業計画・収支予算(案))
- ・意見交換(取組状況、今後の方針等)

5 会議での意見・今後の方向性等

- ・障がい者スポーツ関係者を実行委員会に加えて、競技実施・受入体制等の検討を進めるとともに、各開催市町実行委員会をベースに、県内の参加者受入体制、おもてなし対応等の検討・準備を進める。
 - ・参加目標人数を集めるため、9月にマレーシア・ペナンで開催される「第1回アジアパシフィックマスターズゲームズ」や同月鳥取市で開催される「全日本マスターズ陸上競技選手権大会」など国内外の大会等において、ワールドマスターズゲームズ2021 関西組織委員会と連携して、県内開催競技のPR等を行う。
- 生涯スポーツを楽しむ選手、家族、友人に多く訪れてもらい、周遊してもらえるようにしたい。(知事)

《参考：大会概要》

- ・開催期間 2021年5月14日(金)～30日(日)(17日間)
- ・開催場所 鳥取県等を含む関西一円(開会式：京都市、閉会式：大阪市)
- ・開催競技 32競技55種目(当初)⇒34競技58種目(4/16に開催されたIMGA総会で承認後)
※本県では、アーチェリー競技にインドア種目を追加
- ・参加目標 5万人(国内3万人、国外2万人)
- ・県内開催公式競技 4競技6種目(参加目標人数：3,172人)

市町名	競技名	種目名、参加目標人数
鳥取市	アーチェリー	ターゲット200人、インドア200人
倉吉市	自転車	トラック500人、ロード1,100人
米子市	柔道	500人
湯梨浜町	グラウンド・ゴルフ	672人